



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩田 斉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,519	△12.4	303	5.9	247	△3.7	247	0.6
24年3月期第3四半期	14,299	—	286	—	256	—	246	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 280百万円 (2.6%) 24年3月期第3四半期 273百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	17.91	—
24年3月期第3四半期	17.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,888	6,313	53.1
24年3月期	12,552	6,102	48.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,313百万円 24年3月期 6,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,832	△19.7	256	2.4	240	△5.5	204	△16.0	14.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	13,869,200 株	24年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	26,030 株	24年3月期	25,830 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	13,843,203 株	24年3月期3Q	13,843,664 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、東日本大震災の影響により停滞していた経済活動に回復傾向が見られたものの、欧州債務危機による金融市場の動揺や米国経済の景気回復懸念等に伴う円高の状態が続いておりましたが、12月の政権交代により新政権による金融緩和や経済対策実行への期待感から円安、株高が進行し、先行きは依然として不透明ながらも景気回復の期待は高まっております。このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り返している状況が長期間にわたって続いており、消費者の消費志向も節約型・低価格志向型が定着しております。

さらに当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年同期と比べ、低い水準で推移しておりますが、なお先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「選択と集中」「シナジー効果の実現」を基本方針とし、事業基盤の強化と企業価値向上に向け、業務活動に関わる法令等の遵守を徹底し、内部統制の強化に注力するなど、「コーヒー焙煎のユニカフェ」をあらゆる面で強化する取り組みを進めております。

「選択と集中」につきましては、営業リソースを「コーヒー関連事業」に集中し、営業体制・製品開発体制の強化と周辺事業からの撤退を進めており、「コーヒー関連事業」以外の事業は、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業である「パルプモールド事業」のみとしております。

「シナジー効果の実現」につきましては、神奈川総合工場を戦略基地とした生産工程全般の効率化を進め、安全、品質、技術力の強化を図るとともに、管理体制の一層の強化に努め、「コーヒー関連事業」の売上拡大に注力しております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの販売数量の増加によるシェアの拡大に注力いたしました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、新規取引先の開拓と、既存取引先に対する新製品提案による販売数量の増加に注力いたしました。

工業用コーヒーにつきましては、第1四半期会計期間での販売数量は不振だったものの、第2四半期会計期間から引き続き、当第3四半期会計期間においても主要取引先を中心とした販売数量が好調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の販売数量は前年を上回る結果となりました。

業務用コーヒー・家庭用コーヒーにつきましては、販売管理体制の強化と営業活動の強化により、新規取引先の獲得と主要取引先の販売数量が引き続き好調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の販売数量は前年を上回る結果となりました。

以上の結果、コーヒー生豆相場が前年に比べ低い水準で推移したことに伴い、販売価格が低下したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は123億90百万円（前年同期比12.6%減）となりました。利益面では、依然として厳しい競争環境が続いている中、売上増加に伴う変動費が増加しましたが、販売費及び一般管理費の削減と生産工程の効率化に努めた結果、営業利益は2億83百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億29百万円（前年同期比1.4%増）、その営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、19百万円（前年同期比111.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は125億19百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は3億3百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は2億47百万円（前年同期比3.7%減）、四半期純利益は2億47百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6億64百万円減少し、118億88百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が5億7百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が2億88百万円、受取手形及び売掛金が1億88百万円それぞれ減少したことによります。また、固定資産が1億56百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券が1億33百万円減少したことによります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比8億75百万円減少し、55億75百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が8億66百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金金が9億40百万円減少したことによります。また、固定負債が8百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億10百万円増加し、63億13百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は53.1%となり、前連結会計年度末比4.5ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月8日公表の「営業外収益、営業外費用及び特別利益の計上並びに平成25年3月期第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,933,786	1,644,965
受取手形及び売掛金	4,152,698	3,964,487
商品及び製品	259,224	182,522
仕掛品	30,597	22,609
原材料及び貯蔵品	284,935	308,016
繰延税金資産	111,597	111,597
その他	70,460	101,609
貸倒引当金	△620	△591
流動資産合計	6,842,680	6,335,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,868,338	3,968,394
減価償却累計額	△1,343,826	△1,438,987
減損損失累計額	△145,763	△146,000
建物及び構築物(純額)	2,378,749	2,383,406
機械装置及び運搬具	3,223,773	3,324,035
減価償却累計額	△2,621,717	△2,701,706
減損損失累計額	△177,670	△177,959
機械装置及び運搬具(純額)	424,384	444,369
土地	1,639,318	1,639,318
建設仮勘定	15,435	522
その他	211,854	213,913
減価償却累計額	△170,554	△181,421
減損損失累計額	△1,338	△1,340
その他(純額)	39,960	31,152
有形固定資産合計	4,497,848	4,498,769
無形固定資産		
ソフトウェア	5,824	7,405
その他	77,763	76,528
無形固定資産合計	83,588	83,933
投資その他の資産		
投資有価証券	726,292	592,723
破産更生債権等	3,981,999	3,981,999
その他	69,183	55,584
貸倒引当金	△3,648,686	△3,659,686
投資その他の資産合計	1,128,789	970,621
固定資産合計	5,710,225	5,553,324
資産合計	12,552,906	11,888,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,635,938	4,689,713
短期借入金	1,400,000	460,000
未払法人税等	15,280	38,293
賞与引当金	47,433	28,772
その他	285,873	301,201
流動負債合計	6,384,526	5,517,980
固定負債		
繰延税金負債	7,006	24,781
負ののれん	26,977	6,744
その他	32,037	25,729
固定負債合計	66,021	57,255
負債合計	6,450,547	5,575,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	953,873	1,132,574
自己株式	△38,814	△38,889
株主資本合計	6,152,358	6,330,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,674	44,750
為替換算調整勘定	△62,674	△62,429
その他の包括利益累計額合計	△49,999	△17,678
純資産合計	6,102,358	6,313,306
負債純資産合計	12,552,906	11,888,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	14,299,082	12,519,542
売上原価	12,889,999	11,003,183
売上総利益	1,409,083	1,516,359
販売費及び一般管理費	1,122,311	1,212,751
営業利益	286,772	303,607
営業外収益		
受取利息	1,885	1
受取配当金	2,532	2,002
負ののれん償却額	20,232	20,232
受取家賃	19,253	13,190
受取保険金	667	32,868
貸倒引当金戻入額	14,319	—
その他	5,789	10,267
営業外収益合計	64,680	78,562
営業外費用		
支払利息	5,785	4,024
不動産賃貸原価	46,002	58,336
投資事業組合運用損	40,519	54,036
その他	2,179	18,268
営業外費用合計	94,486	134,664
経常利益	256,965	247,505
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,675
特別利益合計	—	34,675
特別損失		
固定資産除却損	46	—
特別損失合計	46	—
税金等調整前四半期純利益	256,918	282,181
法人税、住民税及び事業税	5,700	34,263
法人税等調整額	4,752	—
法人税等合計	10,452	34,263
少数株主損益調整前四半期純利益	246,466	247,917
四半期純利益	246,466	247,917

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	246,466	247,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,494	32,076
為替換算調整勘定	△5,798	244
その他の包括利益合計	26,696	32,321
四半期包括利益	273,162	280,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,162	280,239
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。